



みんなの住んでいる町

校区を空から見るとたくさんの道があります。道を渡る時は、何に気をつければいいかな。
うっかり、安全確認を忘れるのは、どんな時かな。児童は自分事として考えます。



おまわりさんのお話

自転車に乗る時は必ずヘルメットをかぶりましょう。将来の夢を叶えるためにも体に指令を送る役目の脳を守ることが重要。

セーフティーコース

見通しの悪い交差点でも、見通しのよい交差点でも止まって安全確認。「右・左・右・後ろ」。
横断歩道では、歩行者がいないか確認。
自転車は車の仲間。左側通行。「止まれ」の標識では、止まる。横断歩道では、歩行者優先。
児童は、一人ずつ自転車に乗ったつもりで、歩いて体験します。



大きな壁がある見通しの悪い交差点

自転車による手本



担任の先生も体験

最後に担任の先生もセーフティーコースを走行（歩行）。
児童は、担任の先生の動作に大注目。
授業後の継続的交通安全教育が期待できます。

